



## さいたま市シニアユニバーシティー岩槻校第9期校友会会報第2号

### 副会長になって！！

副会長 前澤 ○○

4月の総会で副会長職になって6カ月。今年度の会員は46名となり若干、昨年より少なくなったのが残念です。しかし皆さんと月一回の顔合わせが待ちどおしいとの思いもあり、親近感を感じる年月の積み重ねがそうさせるのだと思うようになってきたものです。

これからの9期の行事としては、10月のボウリング大会、11月の文化祭、また、今年初めて2月に予定した「会員による経験談スピーチ」や3月の吹き矢教室などが主な事業内容ですので、大いに皆様と共に楽しくガンバッテゆきたいと思えます。

特に、役員で心配しているのは、2月予定の「会員による経験談スピーチ」です。会員の皆様はそれぞれ人生経験を60年以上育んで来られておられると思いますが、いざ人前でスピーチをするとなると躊躇しがちだと思われまます。(私がそうです)例えば、女性なら子育てのことや、楽しかった旅行のこと、又はオヤジ(親父)のこと?等々。男性なら会社での出来事や終括のこと等々、日常の事を話している感覚で話が出来ればよいのではないかと思います。

最後に、この一年間会長を補佐し、また皆様のご協力により、9期が完全に一体となり、進行し、1年が無事終わることを願っているところです。

### おもしろ漢字講座

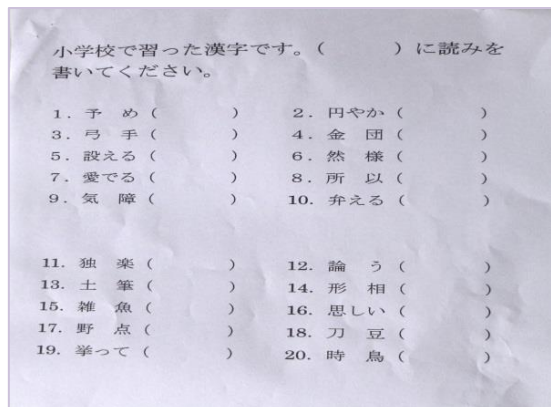
漢字教育士 内山政勝氏

内山先生を講師としてお招きし、6月19日に「漢字講座」を開催し学習することになりました。

内山先生は、現在、春日部市で幅広い世代を対象に小学校の講座・市民講座など漢字の魅力伝えるため、幅広く活躍をされておられます。

講義は、漢字の概要からはじまり、教育漢字・常用漢字・人名漢字と進み、小学校で習った漢字です。( )に読みを書いてくださいになると、四苦八苦となり、スマホで回答はいけませんとなりました。9期の漢字博士は、全問正解とはいかずとも、ほぼ満点に近い回答でした。

出席者全員、真剣に取り組んでおりました。



6月20日(水)9時30分、大宮駅豆の木集合、雨の中定刻に全員集合完了。  
 予定通りJR京浜東北線にて出発、秋葉原駅で総武線に乗換え、両国駅には、10時40分に到着。  
 早速博物館へ、入場手続きを済ませ展示場へ、メインの「発掘された日本列島2018」地域展を見学、日本列島では毎年8,000件近い発掘調査が行われていて、このうち近年発掘された遺跡や、成果がまとまった注目の17遺跡約540点を速報展示されていました。続いて<江戸ゾーン>へ、当初の予定はボランティアガイドによる案内を計画しておりましたが、見学者多数のため待ち時間が長くガイドさんの案内を断念し、自由見学としました。昼食は、「ちゃんこ安美」にて、ちゃんこ鍋をいただきました。天候が思わしくなく予定を変更してスカイツリー見学はまたの機会とし、秋葉原駅にて解散としました。

ご参加いただきました皆さん、雨の中有難うございました。

担当A班 今井・樫木・蔵部・黒川



展示物



SSU岩9校友会 史跡めぐりクラブ 江戸東京博物館とスカイツリー見学 H30.06.20(水)

江戸東京博物館館内にて



鶏つくねちゃんこ鍋

**第3回ボウリング大会参加者募集**

10月16日(火) 春日部ターキーボウル 午前10時スタート 集合 9時30分  
 参加費 ゲーム代 1,500円 懇親会費 2,000円 男女別表彰 班別表彰

岩槻区小溝地区で活躍中の AKS バンドのコンサートがワッツ 5F の音楽室で開催。亡き江原さんの紹介で予定されていたが、やっとこの度の開催に至った。最初に MC の高橋さんから江原さんとの出会いなどのお話があり、古き良き時代の歌謡コンサートが開催。最初のバンド演奏に続き、文化祭で熱唱した「学生時代」や「高校三年生」などを全員で合唱した。瀧田会長より「来年もぜひ」とのお礼の言葉があり、楽しい数時間であった。



#### 第4回素人出前寄席

8月7日酷暑の中、澄川さんのご厚意で昨年に引き続き第4回目となる落語鑑賞会を「ふれあいプラザいわつき」で開催となりました。

鹿鳴家七夕さんの「蕎麦の殿様」は身振り手振りで演じられ笑いの中に誘い込まれました。続いて 鹿鳴家酒郷さんの「宿屋の富」、鹿鳴家さん好さんの「宿題」、一め家ここあさんの「青菜」、海外旅行の疲れと帰国後の暑さに辟易されておられた様子でした、出演者皆さんの熱演で暑さを忘れてしまうような楽しいひと時を与えて頂きました。有難うございました。

今回は、9期のみのお観賞会でしたが、40名に欠ける参加で、会場が閑散としたような状況でした。次回は、先輩・後輩に呼びかけて参加をお願いしてはと感じました。



鹿鳴家 七夕さん



鹿鳴家 酒郷さん



鹿鳴家 さん好さん



一め家 ここあさん

#### 護施設「フラワー」夏祭りの手伝い 6班

2018.08.24

6班として、何か一緒に出来ることのないかと、探していたところ介護施設のお手伝いがあるといわれ、8月24日13時から～15時までの間、介護施設で実施される『夏祭り』に参加しました。踊りの輪の中に入って一周し、そしておみこし担ぎの手助け、施設利用者の会食のための配食の手伝いなどが、主たる作業でお手伝いは終了しました。介護される方への接し方、目線の置き方・姿勢など勉強になりました。



## 浄国寺の仏眼舍利

浄国寺の山号・仏眼山は、お釈迦様の眼の舍利（遺骨）があることに由来しているといわれています。

舍利はお釈迦様の左目と言われ、唐の玄奘三蔵法師が天竺に渡った時、那欄陀寺から拝領し、後に玄宗皇帝が日本に七つの宝物の一つとして熱田神宮に奉納したといわれていますが、嘉慶年中（1387～9）に三俣村（加須市）龍蔵寺の教蔵上人が譲り受け安置していました。

時は移り、関東は、上杉氏と北条氏が争う戦場と化し、寺は壊され、民家は焼かれ、舍利は人々の間を転々とした後、羽生の菅原氏のもとで供養されていました。

ところが、舍利を手元に置いてからというもの、時折、不思議なことが起こるので菅原氏は、このような尊い舍利を自分が持っていることは、恐れ多いことと思い、岩槻の浄国寺に寄進しました。

時の岩槻城主・太田氏房は武骨者で舍利を尊び信じることができませんでした。人々が舍利に心を寄せて深く信仰しているのをねたんだ氏房は、舍利が本当に不思議な力を持つのかどうか、その真偽を試してみようと考え、舍利をふくさに包み、石の上に置いて槌で打ちました。すると、石も槌も粉々に砕けてしまったのに舍利は傷一つついてはいませんでした。そのため氏房は、この行いを悔やみ、改めて舍利を崇拜したといえます。そして浄国寺の山号を仏眼山と名づけたということです。

舍利を一度拝めば如来に会える。また幸福で長生きできると言い伝えられてきました。

元禄年間に堂宇が火事で失われた時、舍利を江戸で開帳し、その賽銭で富くじを買ったところ、連続して当たり、たちまち再建の資金が得られたということです。これにちなんで巾着三つを並べて『福利紋巾着』と呼び寺の紋としました。

現在、舍利は承応3年（1654）に造られた仏眼舍利塔に納められています。

### 座 禅 の す す め （言葉使いの大切さ）

みなさんは一度となく座禅を経験なさったことと思います。歴代の総理が参禅している谷中の臨濟宗全生庵住職の平井正修師が著書「座禅のすすめ」の中で「座禅とはすべてを捨て去ること」と言っておられます。心の中の、身の周りのこれまでの柵（しがらみ）を全て捨て去り、無の境地になることだそうです。我々凡人には出来ませんよね。出来ることは年賀状の断シヤリ。それすら出来ずに悶々としている今日。

平井正修師が修行中、師に特に厳しく言われたのが「言葉遣い」だそうです。例えば、師に何かを聞かれて、「～だと思えます」と答えると、ガツンと言われたそうです。「思えますとはなんだ」と。「思えます」というのは頭だけで考えているから出てくる言葉ではないか。なぜ、身体で確かめようとしないのだ。」と。

禅問答に有名な「冷暖自知」というものがあります。これは一杯の水がある。それが冷たいか、暖かいかは、眺めていたって、頭で考えていたって、分からない。そこで「冷たい(暖かい)と思えます」といういい方になる。しかし、実際に自分の手をそこに入れてみたら、冷暖はすぐにわかる。「冷たい(暖かい)です」といえるのです。身体を使えばすぐに確かめられるのに、それをしないで「思えます」ですませるのは怠慢。真剣にそのことと向き合っていないということでしょうか。（瀧田記す）